

O's News



足のしびれ痛みのお話

脳神経外科医長 松岡 龍太

「脳神経外科」では、「脳」だけにとどまらず、「脊髄」や「末梢神経」を含めた**全身の神経の病気の診断と治療**を行っています。その中でも足のしびれや痛みを引き起こす原因となる「腰部脊柱管狭窄症」や「腰椎椎間板ヘルニア」などの腰椎疾患は非常にたくさんの方がお困りになっておられ、当院でも日々治療にあたっています。

背骨の病気の治療の基本は、保存治療です。これは、背骨の中の神経は背骨の動きに伴って傷みやすいため、動きを抑え、安静にすることです。また、負担のかかった周辺の筋肉に対し、必要に応じて運動療法を行います。さらに症状の原因に応じた薬物治療を行うことや、ブロック治療を行うこともあります。腰椎疾患は、このような保存治療が基本ですが、痛みやしびれが強い場合や麻痺があるような場合には手術を検討します。

「腰部脊柱管狭窄症」は脊柱管と呼ばれる神経の通り道が狭くなることで下肢痛・しびれなどの症状を引き起こします。腰部脊柱管狭窄症における下肢痛やしびれは、安静時には軽度ですが、歩行を継続すると悪化してしまう、いわゆる「間欠性跛行」とよばれる症状です。この間欠性跛行が悪化すると、連続して歩ける距離が徐々に短くなり、安静時の下肢痛やしびれも強くなります。症状の

程度によって脊柱管を広げる手術を行うこともありますが、その場合も、本院ではできるだけ体の負担をかけないように顕微鏡を用いた手術を行い最小限の傷で治療しています。

「腰椎椎間板ヘルニア」は、背骨と背骨の間にある椎間板と呼ばれる組織が破綻し中身が飛び出して、近くの神経を圧迫することで足の痛みを引き起こします。多くは自然経過で軽快するとされ保存的療法の原則です。ただし症状によっては外科的な治療が必要なこともあります。本院では顕微鏡や内視鏡による低侵襲な手術を行うことで短期間で社会復帰を可能としており、病気の状態によっては椎間板内酵素注入療法による1泊での治療を行う場合もあります。

足のしびれ痛みの原因はさまざまで、脊椎脊髄以外にも末梢神経や血管に原因がある場合もあります。それも踏まえて原因をきちんと突き止め、適切な治療を受けることができるようにすることが当院の役割でもあります。お困りの方は一度専門医に相談されることをお勧めします。



回復期リハビリテーション看護

北3階 回復期リハビリテーション病棟
看護師 岸本 理加

当院の北館3階病棟は、回復期リハビリテーション病棟です。

脳血管障害(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)や脊髄疾患(脊髄損傷・脊髄炎)などの疾患により、これまでのように動けない、話せない、食べられない、といった患者さまが入院されています。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士、薬剤師などの専門の職種が協力して、患者さまや御家族が生活を再構築できるように様々なリハビリや援助を行います。

回復期リハビリテーション病棟ということで、リハビリテーションが中心と思わ



れがちですがリハビリテーションを円滑に行うためには患者さまや御家族の“こころ”の部分が大切になってきます。私達リハビリ看護スタッフは他のコメディカルと協働し、患者さまや御家族の方に寄り添い、現状を受け入れ、これからの生活が考えられるようにお話を聞かせていただいています。

現在病棟は、開院してから3年が経過しました。スタッフ一同協力し、患者さまや御家族と密に話し合い、退院後の生活に困らないようにリハビリや相談に対応し、サポートできるように私達も頑張っています。

入院中には感じにくい季節を感じられるように、アクティビティも行い、楽しむことも忘れずに看護を提供させていただいています。



病棟クラークについて

秘書課 黒田 明那

「病棟クラークとは、何ですか?」と患者さんに聞かれることの多い職種ですが、病棟のスタッフステーションに常駐している事務職員のことを指します。医師事務作業補助者という認定資格を取得しており、医師の業務負担の軽減のため、事務的な業務をサポートすることが主な業務です。業務内容は、入院、退院される患者さんの対応業務、各種診療情報の管理、電話対応、面会者のご案内、スタッフステーション内での事務処理、予約変更の電話対応、診断書の作成などです。病棟クラーク間で『報告・連絡・相談』を大切にし、専門的知識の習得・個々のレベルアップを目標に業務を行っております。また、患者さんとの関わりが少ない職種ではありますが、他職種との連携を密にし、患者さんにとってより充実した医療を提供できるよう、日々努めていきます。





しもつき 霜月

冷たい北風が吹き季節は冬へ、霜が見られる頃です。あっという間に暮れてゆく冬の日、「短日」とは冬の日短さ、夕暮れの早さを指す言葉です。

十八節気

霜降

11/3～7(五十四候) 楓蔦黄 / もみじつたきばむ

紅葉や蔦の葉が描く美しい色のグラデーションが温かく彩ります。十一月三日は「文化の日」。「文化」とは「権力や刑罰を用いず、導き教える」という意味で明治の頃、英語のCultureの訳語とされました。もともとは明治天皇の誕生日として「天長節」「明治節」として祝い、日本国憲法がこの日に公布されたのを記念し「文化の日」となりました。

十九節気

立冬

11/8～12(五十五候) 山茶始開 / つばきはじめてひらく

「つばき」とは山茶花(さざんか)のこと。一般的には、花ごとポトリと落ちるのが椿、はらはらと花びらが散るのが山茶花です。昔から風邪によいとされるネギ。体を温め発汗を促すアリシンが豊富な冬の野菜です。関東では白ネギ、関西では青ネギが好まれる傾向ですね。



11/13～17(五十六候) 地始凍 / ちはじめてこおる

大地が凍り始める時期です。舗装された場所が多くなり、見る機会は少なくなりましたが、見つけるとうれしくなる、キラキラ輝く氷の柱「霜柱」♪
思わず踏んでみたくなるワクワク感を思い出します。



11/18～21(五十七候) 金盞香 / きんせんかさく・きんせんこうばし

早咲きの水仙が咲き始め、冬の気配が強く感じられる頃です。きのこは「木の子」がそのいわれ、秋の長雨の時期に沢山の種類がニョキニョキ♪
しめじ、まいたけ、しいたけ、なめこ…秋の滋味を楽しみましょう。



立冬を迎え、黄色く色づくイチヨウの並木。銀杏(ぎんなん)は季節の味ですね。



二十節気

小雪

11/22～26(五十八候) 虹蔵不見 / にじかくれてみえず

日差しが弱く、空気も乾燥して虹を見ることは稀な季節です。おしどり夫婦と仲の良い夫婦にたとえられる「鴛鴦」。実は日常は雄も雌も同じような地味な羽色、繁殖期の冬がくると、雄の羽毛があの色鮮やかな羽色に変身するのだそうです。



11/27～12/1(五十九候) 朔風払葉 / きたかぜこのをはらう

冷たい北風が木々の葉を吹き飛ばしてゆきます。亥の月(旧暦の十月)の初めの亥の日、亥(猪)の多産にあやかり七種の新穀で作った「亥の子餅」を食べると病気になるという言い伝えが。急に寒くなってくるこの頃、火鉢や炬燵を出す日ともされました。



初雪の便りが北国から届く頃、平地では落葉の季節です。

季節の味

林檎(りんご)

バラ科リンゴ属

花言葉:リンゴの木「名誉」、リンゴの実「誘惑」「後悔」

春に優しい色の花を咲かせ、秋から冬に収穫時期を迎えるリンゴ。和名の「林檎」は平安時代中期の辞書「和名類聚抄」の「利宇古宇(りうこう、りうごう)」が転訛しました。胃酸のバランスを整えるペクチンが多く含まれ、「1日1個のリンゴは医者を選ばせる」と言われますね。リンゴ栽培は有袋リンゴと無袋リンゴに分けられ、一般的に無袋リンゴは「サン〇〇」と呼ばれます。最近は葉取らずリンゴも登場。葉で蓄えられた糖で甘みを増した無袋の自然リンゴです。季節の恵み美味しいリンゴはいかがでしょう♪





Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	前岡	角田	福留	松岡
	午後	高橋	前岡	角田	福留	松岡
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	高井
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	—	神経内科 赤谷	内科 竈門(カマド)	第4金曜日 てんかん外来 田村
	午後	—	—	—	—	第4金曜日 てんかん外来 田村
10診	午前	—	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (2019.11)

連携協力医療機関のご紹介(No.186)

くどう内科クリニック

院長:工藤 順弘

【認定資格】日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医、医学博士

【診療科目】内科・循環器内科・心臓リハビリテーション科

【住 所】加古川市野口町坂元1029

【電 話】079-425-0005

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	/
16:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日



連携協力医療機関のご紹介(No.187)

くすだ泌尿器科

院長:楠田 雄司



【認定資格】医学博士(神戸大学)、日本泌尿器科学会 専門医・指導医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医、手術支援ロボット da vinci console surgeon認定、がん緩和ケア研修終了

【診療科目】泌尿器科

【住 所】明石市東仲ノ町10-18 みなとビル明石東仲ノ町4階

【電 話】078-912-3730

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	/
16:30~19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日



楠田院長からのメッセージ

頻尿、尿失禁、排尿困難などの尿のトラブルでお悩みの方はお気軽にご相談ください。尿路カテーテル管理にも対応します。往診も可能です。

公式LINE 〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp http://www.onc.akashi.hyogo.jp/

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399 発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘



ホームページ

